

「わたくしたち家族の夢—zigzag house で暮らす」懸賞作文

2009年に誕生した世界最大の住宅デザインサイト「Houzz(ハウズ)」。すでに世界中から2,000万人以上のユーザーと、約70万の住宅リフォーム専門業者が登録しています。2015年4月に日本でのサービスも開始し、人気のサイトとなっています。

このハウズで“Eco House”、“Sustainable House”と検索すると、世界中のスタイリッシュなエコ住宅のストーリーをチェックすることができます。“夢のMyエコハウス”の参考となるアイデアの宝庫で、いつも時間も忘れてしまうほど魅入ってしまいます。

以前より日本の風土に適した、日本が培ってきた木造建築の知恵を存分に活かされた“Zigzag Houase”をいつか北海道ニセコに誕生させたいと思っていました。

そして完成したあかつきには、このサイト「Houzz(ハウズ)」で発表し、世界中に丸谷博男先生の叡智が凝縮された“Zigzag Houase”を世界に向けて発信したいと思っております。

私は、昔からアレルギー体質なので、ホルムアルデヒドなど化学物質を極力使用しない自然素材にこだわった家に興味がありました。健康と環境に配慮した住宅づくりをされている丸谷先生の「エコハウスマイスター制度」の活動に取組みに以前より大変関心がありました。パッシブソーラーデザインなど最新の技術と、日本の伝統から生まれた自然の力を生かした建築の知恵を融合した、“未来の家”を建てたいと思っております。

これまでの10年間、環境や社会に配慮する、という意味で“エシカル”という言葉や、ファッションを通じて日本に広めて参りました。自分も、世界の全てのいきものもハッピーになるような暮らしを追い求めて、“DGBH(DoGood, Be Happy の略)”というライフスタイル セレクトショップを東京表参道ヒルズに1年間の期間限定ショップをプロデュース。その後、オンラインショップ&マガジンに移行し活動しております。これからの10年は、“衣“だけではなく、より”住“、“食“に目を向けていきたいと思っております。そして今年、北海道のニセコに住む両親のために、実家をリフォームし、環境や社会に、そして高齢者にも配慮した家を創り、世界に向けて“DGBH”な暮らしを発信していけたらと思っております。

ドイツで1960年代からアントン・シュナイダーが提唱してきた“バウビオロギー(建築生物学)”やエコロジカル建築の学問では、住まいを「第3の皮膚」と捉えます。

衣服が「第2の皮膚」、住まいは「第3の皮膚」。衣服も家も、なるべく自然素材、自然の知恵を活かした、着心地、住み心地の良いものにしたいと思っております。

夢のエコハウスの妄想は、“持続可能“に尽きません。

今回、丸谷先生の著書「そらどまの家」に出会い、深く共感し、応募させていただきました。どうぞよろしく願いいたします。

2017年3月15日

林民子